

令和6年
(2024年)

9

そうごう 総合センターだより

かわにし そうごう かわにしりん ぼ かん かわにし じ どう かん
川西市総合センター(川西隣保館・川西児童館)

かわにし ひ だか ちやう ばん ごう
川西市日高町1番2号 ☎072(758)8398 Fax 072(758)2132



パラリンピックは、

た よう せい みと
多様性を認め、

だれ こ せい の うり よく
誰もが個性や能力を

は っ き かつ や く
発揮し、活躍できる

こう せい き かい あた ば
公正な機会が与えられる場

6. 教育・多様性 -2 パリアフリー化の推進-

大会を契機に、東京全体ユニバーサルデザインのまちづくり

ポイント

- 都内鉄道駅では、エレベーター等の整備率97.0%の駅でパリアフリールートが確保されている
- 都内の地下鉄駅では、85.5%の駅でエレベーターが設置されている
- 約560kmの都道をパリアフリー化している
- 約3,200室のパリアフリー客室を確保している
- 約6割の人が大会開催決定以降、都内のパリアフリー化が進んだと認識している

6. 教育・多様性 -1 共生社会の実現-

多様な人が共に支え合う「インクルーシブシティ東京」へ

ポイント

- 女子選手の割合は、大会史上最高
- 「心のバリアフリー」の認知度は、50%に増加
- 都内の民間企業における障害者雇用者数は、2012年14万人から、2021年には約22万人まで増加

© Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

TOKYO2020 レガシーレポート

共生社会の具現化への重要なヒントが詰まっている大会

パリ2024パラリンピックが、8月28日から始まります。パラリンピックは障がいのあるトップアスリートが出場できる世界最高峰の国際競技大会で、9月8日まで22競技で熱戦が行われます。

様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らし限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられている場です。それは、共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっている大会であり、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることにも気づかせてくれます。

パラリンピックのレガシーを未来へ引き継ぐために

前回、日本で開催された東京2020パラリンピックでは、東京都がオリンピックと合わせて「TOKYO2020 レガシーレポート」を作成。まちづくり、スポーツ・健康、教育・多様性、環境・持続可能性など9の分野での成果やこれからの目標が記載されています。私たちは、これで終わりではなく、成果をさらに発展させ未来に引き継ぐ必要があります。皆さんも、パラリンピックの選手からパワーと感動をもらい、未来へ引き継ぐために自分でできることを考えてみませんか。

総合センターだよりは、読みやすいフォント「UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体」を使用しています。